

市民病院

患者サービスのさらなる向上へ
病院機能評価の導入を計画

議員 医療を取り巻く環境は高度化、多様化しているが、現在、医療機関を比較する資料が少ない



状況にある。そのような中、市民病院では第三次実施計画において病院機能評価の導入を計画して

いる。この病院機能評価の導入目的を聞きたい。

病院事務局長 病院の機能評価を行う(財)日本医療機能評価機構は、病院内部で審査項目に沿って自己評価を行い、

病院事務局長 十六年度は、病院内部で審査項目に沿って自己評価を行い、

病院事務局長 病院機能評価の項目は、①病院組織の運営と地域における役割、②患者の権利と安全の確保、③診療環境と患者サービス、④診療の質の確保、⑤看護の適切な提供、⑥病院運営管理の合理性の大きく六つの領域に分かれており、

認定証の有効期間は、五年間となっている。

議員 病院機能評価は認定後五年間有効とのことだが、年数が経過し、設備、環境、人が変わったときに、その質が維持できるとどうにか疑問である。

病院事務局長 病院機能評価の導入は、認定証の取得が第一である。認定証の取得には、審査の結果が得られ、基準に沿っていけば認定証が発行される。

防災体制の充実

情報ネットワーク整備の内容聞く

議員 平成十六年四月の組織改革に伴い、防災関係については防災安全部として消防本部から独立する。現在の消防庁舎には災害時における情報関連機器が整備されており、これらの関連機器の

移動をどのように考えているのか聞きたい。

消防長 本市に設置している情報関連機器は、市内の情報収集・伝達を目的とした平塚市防災行政無線のほか、災害時における県との情報確認

議員 災害情報の迅速かつ的確な収集と伝達のため、情報ネットワークシステム、SCN、FM湘南ナバサとの災害時の緊急情報システムなどがあ

消防長 平塚市防災行政無線の移動系システムは、昭和五八年に導入したアナログ方式の一波のため、情報収集能力が限られており、また、無線機の大部分が導入後二〇

議員 更新には、相互同時通話や画像・文字の送受信、パソコンとの連携など多機能な情報収集が可能となるデジタル方式に変える必要があると

消防長 平成十六年度は、更新の必要があると考えられており、十六年度はどのようなシステムを構築するか、操作性、実用性、経済性などの観点からシステムの調査、設計を行い、十七年度の導入を目指している。

安心・安全のまちづくり

新たに推進協議会設立
地域の防犯対策を強化

議員 安心・安全のまちづくりは、第三次実施計

画の四本柱の一つであり、市民の期待は極めて大きいものがある。地域の具体的な防犯活動への助成が新たな施策として提案され、(仮称)安心・安心まちづくり推進協議会の設立が計画されている。

この推進協議会ほどのような経過で設立されることになったのか伺いたい。

市長 平塚警察署管内で発生した刑法犯認知件数は、平成十五年には七〇九二件となっており、もはや警察だけで犯罪の防止に取り組むことには限

界があると考えている。現在、防犯協会をはじめとする防犯関係団体、学校、青少年団体等の各団

体で、それぞれの目標に沿った防犯活動を展開しているが、広範囲でより効果的な防犯活動を行うためには、各団体が連携して活動した方がよいのではないかとこのことから

議員 今後具体的にどのような活動をしていくのか聞きたい。

市長 今後の活動について

議員 今後具体的にどのような活動をしていくのか聞きたい。

市長 今後の活動について



消防署 通信司令室

議案等の審議結果

Table with columns: 番号, 件名, 提出日, 議決状況, 状況. It lists various municipal council resolutions and their outcomes.